

みて！みて！きて！

ミニ情報



発行者 「エコ・サポート21」
 天神3丁目11番31号
 電話 23-5144

平成31年3月号

～ごみ(塵・芥)を考える～

ごみ減量アドバイザーになり、ウィークエンドリサイクル等の活動を通じて、ごみに対する考え方が変わってきたのかなと感じています。

広辞苑・角川新語辞典で「ごみ」を検索、濁水に溶けて混じっている泥から、物の役に立たず無い方が良いもの・ちり・あくた・ほこり・がれき・・・等々、ごみと言え物物を数え切れないほど列挙されていますが、今の感覚と思えません。私自身としては、広辞苑の「物の役に立たず、無い方が良いもの」がぴったりくるような気がします。しかし自分自身には不用でも社会から見ると、まだ利用可能な物も(リユース・リサイクル)、資源ごみ回収システムがその範囲を小さくしていると思います。この考えを深め、再生不能ごみと、資源再利用廃棄物とに区分した形で市民へ協力を依頼し、回収システムを再構築し、ごみの範囲を縮小すべきではないかと考えます。

第一は、名称の変更(再利用資源物回収・焼却ごみ回収・危険物廃棄等)。

第二は、資源物・焼却・危険物の回収日を明確に区分する。

第三は、市民目線・捨てる側の基準での分別基準の再設定(多くの議論が必要)。

プラマーク付きか否か、不燃物廃棄物、大型ごみをも見直してはいかがでしょうか、廃棄物の分類を増やした方が市民にとって分別が分かりやすくなるのか、理解が難しくなるのか、これも又、多くの議論が必要でしょう。

アドバイザーになりごみについてじっくり考えるようになり、論外かもしれませんが私なりに考えたごみに対する思いです。

☆このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

★環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルから作ったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売をしています。

◎古着の回収

3月1日(金) 午前10時から正午

時間内に持参してください。

ごみ減量にご協力ください。

衣類を燃やさずリサイクルしましょう。

1	金	古着回収日 10時～12時
2	土	休館日
3	日	休館日
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	着物～チュニック 10時～15時
8	金	
9	土	休館日
10	日	休館日
11	月	布ぞうり作り 10時～15時
12	火	
13	水	
14	木	着物～チュニック 10時～15時
15	金	
16	土	休館日
17	日	休館日
18	月	布ぞうり作り 10時～15時
19	火	
20	水	
21	木	休館日(春分の日)
22	金	
23	土	休館日
24	日	休館日
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	休館日
31	日	休館日

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

我が家の食卓の塩にマイクロプラスチックが！？

最近のニュースで、世界の海水で作る塩の9割にマイクロプラスチックが混入しているという調査の結果に「ついにここまで来てしまったか！」と非常に驚きました。特にアジア地域の数値が高いそうです。日本のプラスチックごみの輸出が拒否されて、国内のプラスチックごみが処理出来ず溜まっているという現状を知り、初めて日本がプラごみを輸出していたことを知りました。

今、危機感から世界中でプラスチックごみ問題へ、取り組みが始まっています。

アメリカのコカ・コーラ、スウェーデンのH&M、フランスのロレアルなど、約250社の企業が2025年までにプラごみを無くす宣言と、EUでは2025年までに、使い捨てレジ袋を一人当たり年間40枚まで減らす予定だそうです。

飲むのに数分しかかからないペットボトルが海のごみとして残る期間は数百年かかるのでは、地球はまさしく悲鳴を上げているのです。

私は、店のレジで支払いの時、「エコバックに入れるのでビニール袋はいりません」と断るようにしています。環境に良い事をしたな、と思います。こういう人が増えて行く事を期待してやっています。(ごみ減量アドバイザーでもあるのだから)

今、一人ひとり出来る事、プラごみが少しでも少なくするよう努力と工夫が必要だと思います。

体験コーナー

★空き缶のリサイクル

★牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします。

ぱっくんを無料にて配布しています。



わくわく講座 (参加費各回 100円)

申し込みは、3月1日(金)以降、

電話でエコ・ハウスへ(受付は電話のみ)。

★布ぞうり作り(定員10名)

サラッとした感触が素足に心地よく、外反母趾にも効果あり。

古布を捨てずにカラフルな布ぞうりはいかがですか。

使い古したもめんのシーツ、浴衣、洋服を裂いて、わらじのように編んで作ります。

日時 3月11日(月)、18日(月) 午前10時~午後3時 (2回コース)

持ち物 ものさし(30cm)、布用はさみ、昼食

材料費 130円 材料は各自、手持ちの布を持参してください。

(浴衣、シーツ、布団カバー等ほどいて、布を5~6cm幅に裂いて持ってきてください。)

★着物からチュニック作り(定員8名)

日時 3月7日(木)、14日(木) 午前10時~午後3時 (2回コース)

持ち物 着物(ほどいて)、裁縫道具、型紙用紙、昼食

諸経費 100円

材料費 別途

申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」(上田クリーンセンター内) 上田市天神 3-11-31 TEL23-5144

エコ・サポート 21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ecohouse/>